

中国地域産学官コラボレーションセンター 主要活動報告

- 『中国地域産学官アクションプラン』の総合的推進
- 『中国地域産学官コラボレーション会議』事務局

平成21年7月1日

第9回 中国地域産学官コラボレーション会議

目 次

- 平成20年度 活動報告
- 平成21年度 活動計画

平成20年度 活動報告

活動の柱		主要活動
A	地域プロジェクトに貢献する 産学官共同研究実用化推進	①「農商工連携」推進のため、大学・研究機関の 技術シーズ調査・整理
B	新たな産業の中核となる 大学発ベンチャー創出育成	②キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催 ③大学発ベンチャー事例集の作成
G	産学官連携活動の支援体制 の整備	④「地域イノベーション創出2008 in やまぐち」開催 ⑤ アクションプランの中間見直しに向けた検討・採択 ⑥中国地域産学官功労者表彰 ⑦広域連携(大学間連携)の推進 ⑧インテレクチャル・カフェの開催 ⑨各県主要コラボ会議メンバーとの「意見交換会」開催

① 農商工連携推進のための技術シーズ調査

目的

農業を取り巻く諸問題が顕在化する中、産学官連携の裾野拡大という視点から、「農商工連携」を切り口として、農業の生産性向上・競争力強化に役立つ大学・研究機関の技術シーズを調査する。

事業内容

「農商工連携シーズ活用ガイドブック」の作成

(平成20年12月発行)

- ✓ 中国地域大で「農商工連携」に係る研究シーズを集約
- ✓ 本ガイドブックを用いて、関連する企業等へのPRを行い、連携の促進を図った。



② 第8回キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

応募期間：平成20年9月1日～10月31日

応募件数：19の大学・高専から計104件（過去最高の応募校数）

表彰式：平成21年1月29日（木）於リーガロイヤルホテル広島

<CVG中国グランプリ 受賞プラン>

骨伝導インタフェースを用いた障害者支援装置による事業展開

（広島市立大学 中山 仁史さん, 小田 康平さん）



③ 大学発ベンチャー事例集の作成

目的

大学発ベンチャーの事業内容・事業展開状況や起業時の苦労等の事例を大学の研究者へ紹介することで、創業時に十分な事業戦略を立て、成長力を持った大学発ベンチャーの創業を促す。

事業内容

「OPEN THE DOOR」の作成

～ 新技術ではばたく革新的大学発ベンチャー ～

こんなのはいかがでしょう？(細川)

(平成21年3月発行)

- ✓ 中国地域発の「大学発ベンチャー企業」における様々な事業戦略を事例集として取り纏め
- ✓ 本事例集を用いて、大学・支援機関等へPRを行い、大学発ベンチャーの創業促進を図った。



④地域イノベーション創出2008 in やまぐちの開催

日時 : 平成20年7月17日(木), 18日(金)

場所 : 海峡メッセ下関(山口県下関市)

参加者 : 約500名
(産 185, 学 164, 官 152, その他)

主な内容 :

✓ **研究交流会(5会場で並行開催)**

産業クラスター計画のメインプロジェクトを中心
とした5つのテーマで議論
(自動車・FPD・環境・知財・地域イノベーション)

✓ **第8回中国地域産学官
コラボレーション会議**

アクションプラン(5カ年計画)の中間見直し案に
ついて参加74機関から承認を得た



⑤アクションプランの中間見直しに向けた検討・採択

(コラボレーションシンポジウム内で実施)

3年目(平成19年度)を迎えたアクションプランに対し、
連携活動の現状を把握・評価した上で中間見直しを実施



<中間見直しによって追加・修正された項目>

- ・ 医工, 農商工連携など異分野間の連携領域拡大や, 学学, 産産連携の推進
- ・ 共同研究による事業化状況の実態把握と連携様式の改善方策検討
- ・ 国内外でのインターンシップの質的充実
- ・ 産学官一体となった海外留学生の確保・教育・活用の推進
- ・ 大学・企業協力による, 実践的な人材養成講座やアントレプレナー(企業家論)教育の充実
- ・ 大学知財部門とTLOの運営協力や広域連携の強化
- ・ 地域ブロック支援機関や各県支援機関の連携領域拡大と強化
- ・ 大学間連携コンソーシアムの構築

⑥中国地域産学官功労者表彰

(コラボレーションシンポジウム内で実施)

産学官連携活動において先導的な取り組みを行うなど、多大な成果を収め、他の模範となるような事例を選考し、表彰を実施

共同研究・技術移転功労賞(8事例, 21名), コーディネート功労賞(4事例, 4名)
大学発ベンチャー功労賞(1事例, 3名), 地域連携基盤整備功労賞(2事例, 3名)



⑦ 広域連携(大学間連携)の推進

目的

産学官連携の一層の推進を図るため、中国地域内の大学間連携に向けた取組みを支援する。

事業内容

「産学官連携による地域イノベーション創出シンポジウムinちゅうごく」の開催

日時：平成20年6月2日(月)

場所：ホテルグランヴィア広島

参加者：約250名

(産90, 学53, 官54, その他51)

中国地域内五つの国立大学法人の学長と
産業界のトップが一堂に会す、全国初の試み



⑧ インテレクチャル・カフェの開催

目的

大学の若手研究者が、産業界・金融機関・行政関係者等と気軽に交流できる「場」を提供し、次世代の地域イノベーション創出のネットワーク形成を目指す。

事業内容

- インテレクチャル・カフェ広島の開催

【平成20年6月17日(火)(広島大学主催)(広島大学霞キャンパス)】

【平成21年3月24日(火)(広島市立大学主催)(広島市内)】

- インテレクチャル・カフェ東広島の開催

【平成20年12月8日(月)(広島大学主催)(広島大学東広島キャンパス)】



<インテレクチャル・カフェとは>

組織や技術分野や経営といった垣根を越えた関係者が集い、知的交流を深める契機となる「融合」の場のこと。

平成21年度も継続し、
事業の定着化を目指す

⑨ 各県主要コラボ会議メンバーとの意見交換会

目的

各県主要コラボレーション会議メンバーと、最近の意見交換会などで寄せられた関心の高いテーマについて、県単位で意見交換会を開催する。

事業内容

実施日時 11月26日(山口), 11月27日(広島)
12月18日(岡山), 12月19日(米子)

- 内容**
- ✓ 講演会の開催(大学発ベンチャーについて)
(デジタル・ニューディール研究所社長 出口俊一氏)
 - ✓ 意見交換会の実施

平成21年度 活動計画

活動の柱		主要活動
A	地域プロジェクトに貢献する 産学官共同研究実用化推進	①産学官連携成功事例集の作成
B	新たな産業の中核となる 大学発ベンチャー創出育成	②キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催
G	産学官連携活動の支援体制 の整備	③「地域イノベーション創出2009 in とっとり」開催 ④ アクションプラン総括とポストアクションプラン検討 ⑤産学官連携に関する企業意識調査の実施 ⑥インテレクチャル・カフェの定着化

① 産学官連携成功事例集の作成

目的

中国地域における産学官連携により，新製品開発まで至った事例を調査し，産学官連携成功事例集として取りまとめる。



② 第8回キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

目的

大学生のビジネス・企業家精神を高揚し、創造性・チャレンジ精神に富む人材の発掘・育成を目的とし、標記グランプリを開催する。



2009 学生による新事業の提案コンテスト
キャンパスベンチャーグランプリ
応募期間 2009年9月1日(火) → 10月31日(土) **大賞 100万円**
CVG
事業化・起業家に
挑戦!
応募について 北海道エリア 東北エリア 東京エリア 中部エリア 大阪エリア 中国エリア 四国エリア 全国大会

キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)は、大学(大学院)、高等専門学校、短期大学、専門学校に在籍する学生、大学院生を対象としたビジネスプランコンテストです。
学生らしいユニークで斬新なアイデアをお待ちしています。
詳しくはこのサイトで随時更新していきます。



③ 地域イノベーション創出2009 in とっとりの開催

日時 : 平成21年6月30日～7月1日

場所 : 鳥取市

内容 : 基調講演, 事例紹介, 意見交換会など



④ アクションプラン総括とポストアクションプラン検討

中国地域産学官コラボレーション会議(コラボ会議)の活動指針

アクションプラン(取組期間:平成17年度～平成21年度)

平成21年度は最終年度

✓ アクションプランの総括

表現について、もう少し検討がいるかもしれません(細川)

✓ 平成22年度以降のポストアクションプランの検討

<アクションプランとは>

産学官連携の取組みと事業化による成功事例の輩出を加速化するため、産学官の各機関が自主的に取り組むべき活動の指針を取りまとめたもの

- A. 地域プロジェクトに貢献する産学官共同研究実用化の推進
- B. 新たな産業の中核となる大学発ベンチャーの創出・育成と産学協同事業の企業化
- C. イノベーションを担う人材の育成・誘致
- D. 地域の強みを生む知的創造サイクルの形成
- E. 産と学を結ぶコーディネート機能の強化と定着
- F. 地域を支えるイノベーションへの円滑な資金供給
- G. 産学官連携活動の強力な支援体制の整備

⑤ 産学官連携に関する企業意識調査の実施

目的

アクションプランの総括およびポストアクションプランを検討するにあたり、コラボ会議参加機関のこれまでの活動の有効性を検証し、今後の活動の参考とする。

(参考) 産学官連携推進活動が本格化した平成14年にも企業意識調査を実施

調査対象

中国地域の製造業を中心とした企業

(参考) 前は356社から回答受領

調査内容

- ✓ 産学官連携の実績
- ✓ 産学官連携の内容と成果
- ✓ 産学官連携への今後の取組み
- ✓ 大学による人材育成

等

⑥ インテレクチャル・カフェの定着化

目的

昨年6月、広島地域における大学の若手研究者が、産業界、金融機関、行政関係者等と気軽に交流できる場としてスタートしたインテレクチュアルカフェを、定例的に開催することで、地域に密着した異業種交流の場として定着させる。

インテレクチャル・カフェ広島の開催予定

平成21年8月5日(水)(広島県立大学主催)

平成21年10月23日(金)(近畿大学工学部主催)

